



御神事



巫女舞



明神舞（県内最古級の延年舞）

磐梯神社の
舟引き祭り
と巫女舞

福島県重要無形民俗文化財



舟引き祭り

令和8年 春分の日

3/20 金

場所：磐梯神社

(福島県耶麻郡磐梯町大字磐梯字並杉5300)

- 12:00 神事
- 12:40 巫女舞・明神舞
- 13:45 磐梯明神太鼓演奏
- 14:00 舟引き祭り

体験

舟引き祭りに参加できます。

※参加者は、13時に神社境内集合

※参加無料

舌鼓

おもてなし郷土料理
「ざくざく汁」の振る舞い。



主催：舟引き祭り実行委員会 後援：磐梯町・磐梯町教育委員会・磐梯町観光協会
お問合せ：磐梯町観光協会 (TEL 0242-74-1214)

舟引き祭り (ふねひきまつり)

会津仏教文化発祥の地、慧日寺の祭りとして少なくとも300年以上続く伝統行事。

明治に入って磐梯神社に受け継がれました。

飯舟(いいふね)と呼ばれる木舟に米俵を3俵重ね、氏子が東西に分かれ3回引き合います。

東が勝てば豊作、西が勝てば米の値段が上がるとされています。

判定は、磐梯明神が姿を現して行きます。



巫女舞 (みこまい)

舟引き祭りの日に、少女らによって奉納される舞。榊ノ舞、弓ノ舞、太刀ノ舞の三座があり、通常は4人1組で行われます。舟引き祭りとともに福島県重要無形民俗文化財に指定されています。



明神舞 (みょうじんまい)

明神舞は、福島県内で最も古い延年の舞として、慧日寺最大の祭事「御國祭」で奉納されていました。

踊り手は慧日寺本尊「薬師如来」の脇侍である

日光菩薩と月光菩薩のお面を着けて舞い、

会津地域の五穀豊穡や国家安寧を祈願しました。

この舞は、会津藩八代藩主の松平容敬公が残した

スケッチ記録を基に、有志によって再興されました。



会場周辺案内図

磐梯神社



磐梯神社へのアクセス

- 車で
磐越自動車道 磐梯河東ICより5分
- 電車で
磐越西線 磐梯町駅より徒歩30分